

レディスアパレルメーカー22年春夏企画

バリュープライス 市場

外出向け増やす



きれいめ求める声も

今夏は緊急事態宣言の影響や長雨の影響で店頭は不振で、今秋冬でも立ち上がりは各社厳しい。「気温が高く、非常に動きが悪い」、「アウターを中心に配が悪い」、「アウターを中心に配良くなかった」と各社から心配の声が挙がっていた。

ただ、徐々に外出規制が緩和され、また10月中旬以降気温が下がり、「冬物は好調に売れている」（エフビー）、「冬物の販売に期待が持てる」（コスギ）、「防寒は11月に期待できず」（万兵）。また、「カジュアルが一段落し、きれいめを求める消費者が増えている」（エフリード）といった声もあった。

織研新聞社がレディスアパレルメーカーにアンケートを実施したところ、22年春夏商談の進捗は21年に比べて「低調」と

量販店や専門店チェーンを主販路とするレディスアパレルメーカーの22年春夏企画は、外出需要の回復を見込みお出かけの提案を増やしている。サステイナブル（持続可能な）素材、機能素材を使い、デザイン性のあるアイテムを充実。来年以降の消費回復に期待を寄せる。

する企業が半数となった。引き付け型の発注が依然多く、厳しい商談が続いているためだ。それでも、新型コロナウイルスの影響が緩和される中、エレガンス系のアイテムを求める声も増加。来春夏はサステイナブル素材を軸に、昨年からのリラクシング

今後の消費回復に期待

も継続しながら外出向けの企画を各社打ち出す。

サステイナブル充実

ヒロタは生活様式が変化したことでリラクシングを継続。和紙素材、オーガニックコットン、再生ポリエステルといったサステイナブル素材のアイテムを増やす。消費者の中でサステイナブルへの意識が高まる中、POP（店頭広告）を活用して販促していく。

小泉アパレルは一定のニーズのあるリラクシングアイテムやSDGs（持続可能な開発目標）関連のアイテムを継続する。

ヤマトインタナショナルはリサイクルダウシや再生ポリエステルといった環境配慮素材の取り入れやカットソーアイテムを充実する。

タキヒヨは来春夏から京都の染工場が販売する風呂敷ブランド「マシュ・キョウト」がバイヤールから反応が良い。そのほか通勤需要の回復、健康志向の高まりを受けて外出着やスポーツテイストのアイテムを増やす。

万兵は春物では羽織りやすい軽量アウターをブルーやラベンダーといったカラーで提案する。夏物では冷感素材を活用した機能素材を拡大させ、麻素材をメインにインド製品のシェアを高める。

エブリードは「アナルナ」で戦略商品の打ち出しを強化する。販売強化アイテムを明確にすることでメリハリのある売り場作りにつなげるためだ。また来春から小さいサイズのアイテムを展開する計画。今年から開始した大きいサイズに加え、サイズの幅を出して多くの客層のニーズをつかむ。

クロスブラスはキャラクターTシャツ、「USA綿Tシャツ」をユニセックス企画にしてメンズの取り込みも狙う。

アスティは単にもりによるコロナ太り解消のためスポーツを意識した商品計画を拡大する。

レディスアパレルメーカーの海外生産状況

=1面参照

アスティ	バングラデシュ	C Sを年産100万枚
エフビー	バングラデシュ	1900～3900円のSH、ベスト、PTと3900～5900円のJKを生産
	インド	1900～3900円のSH、OP、PTと5900円のJKを生産
エフリード	インドネシア	2900円のセーターを月産3000枚
クロスプラス	ベトナム	1900～3900円のCSを月産10万枚
	バングラデシュ	1900～3900円のセーター、CSを月産35万枚
	インド	1900～3900円の布帛トップを月産5000枚
	ラオス	2900～3900円の布帛BTを月産3000枚
	カンボジア	2900～4900円の布帛トップとBTを月産5万枚
	ミャンマー	2900～5900円の布帛トップとBTを月産15万枚、CSを月産1万枚
	インドネシア	1900～3900円のCSを月産8万枚
小泉アパレル	フィリピン	1900～3900円のCSを月産7万枚
	バングラデシュ	スポットで生産
	インド	オールアイテム年産300万枚
	カンボジア	PTを中心に月産2万枚
	韓国	スポットで生産
ジュニアーク	ベトナム	1万9000～2万5000円のJK、コートなどを月産3000枚
千種	インド	OP、SHを生産
タキヒヨー	バングラデシュ	1900～2900円のKNを単品で春夏12.8万枚、秋冬20万枚、PT月産1万枚
	カンボジア	1900～3900円のPT月産6万5000～7万枚
	インドネシア	890円のCSを月産10万枚
ヒロタ	カンボジア	1900円のBTを月産10万～15万枚
	ミャンマー	5900円のアウターを5万枚（閑散期）
万兵	ベトナム	1980円～2980円のCSを月産3万～4万枚
	インド	2900～4900円のSH、OPを年産40万枚
	カンボジア	2900～5800円のSH、カジュアルアウターを年産20万枚
	ミャンマー	2900～5800円のSH、トレంచి、アウターを年産30万枚
ヤマトインターナショナル	ベトナム	8000～2万6000円のアウターと7000～1万2000円のBTを生産
	タイ	5000～9000円のCSを生産
	バングラデシュ	4000円のCSを生産
	カンボジア	2万～2万6000円のダウンアウターと7000～1万2000円のBTを生産
	ミャンマー	2万～2万6000円のダウンアウターを生産

CS=カットソー、SH=シャツ(ブラウス含む)、SK=スカート、KN=ニット、PT=パンツ、
JK=ジャケット、OP=ワンピース(チュニック含む)、BT=ボトム